

視察成果報告書

令和7年12月19日

犬山市議会

議長 大沢 秀教 様

議員名 柴田 浩行

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1)視察年月日	令和7年12月17日(水)
(2)視 察 地	犬山市立図書館
(3)視察の種類	常任委員会 民生文教委員会
(4)視察成果 (視察地ごとに記入)	【調査事項】 「図書館の在り方について」 【調査目的】 スマートフォンの普及などにより活字離れ、読書離れが問題視される中、時代に即した図書館の利活用、在り方について調査研修を行う。 (図書館の現状確認) ○概要説明を受け質疑応答、管内見学を実施 ・ブックガイドを作成し、0歳児から中学生に向けて読書の普及や啓発に取り組んでいる。 ・令和2年3月には、子ども読書空間「ブックキャンプ」をオープン。 ・令和5年には「子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣賞」を受賞。 ・令和6年4月よりネーミングライツ開始。 ・積極的に図書館行事を実施している。
(5)犬山市に 対する提言	ソフト面においては職員さんや学芸員さんの取り組みによって充実している。その結果として、近年は貸出冊数や利用者数は増加している。 図書館は平成2年10月にオープンした。オープンして35年経過しており、建物は老朽化している。現状、図書館の大規模改修や建て替えなどは計画されていないが、間違いなく建物の老朽化は進んでいく。改修などの計画を立て、資金面での準備を進めるべきだと考える。ネーミングライツなど稼ぐ取り組みは必要だと考える。 まちづくりや地域振興を図るためには、重要政策として図書館の発展に取り組んでいくべきだと提言する。

